

発行 株式会社横浜フューチャースポーツクラブ 横浜青葉区青葉4-9-1三ツツビル4階

編集 株式会社印刷株式会社 横浜FC

写真 株式会社スタジオアポロ

本誌掲載記事、写真イラスト等の無断転載、複製、転載、また本誌の記事、選手インタビューを入れているマシーン出版等は固く禁じます。



MDP

2022



明治安田生命
J.LEAGUE

06.26 sun 18:00 KICKOFF

[第23節] VS. アルビレックス新潟

ヨコレイ YOKOREI Food Expert Match

ほどがや区民DAY

2022 MATCH DAY PROGRAM

KOHEI TEZUKA MF 30

攻撃のスイッチを入れるのが自分の役割

責任を感じてやっている

横浜FCの“心臓”と言っていだろう。背番号30手塚康平のことだ。ポジションはボランチ。ピッチの真ん中で全体のバランスをとりながら、左足から正確なパスを配球する。
「攻撃のスイッチを入れるのは自分の役割だと思っています」
四方田修平監督が目指すサッカーにおいて、手塚が果たす役割は大きい。低めの位置から放たれる、ダイナミックなサイドチェンジや、地を這うようなクサビのボールは、ゴールに向かっていく合図になる。
「大事なポジションを任せてもらっているの、良い意味で責任を感じながらやっています」
当然、相手からの警戒は激しさを増している。ピタリとマークについて孤立させようとしてくるチームも珍しくない。だが、手塚はそれを成長の機会ととらえている。「警戒される中でも結果を出したいですし、自分のプレーの幅も広がっていくと思っています」
シンプルにワンタッチ、ツータッチでボールをさばく。ボールをさらして食いつかせておいて入れ替わる。あるいは、自分が動くことで味方のためのスペースをつくる。華麗なパスに目が行きがちだが、手塚の仕事はそれだけにどまらない。「ボールを持っているときはもちろん、持っていないときにどんな準備をするかが大事になってきます。その質はもっと上げていきたいです」

試合の流れを読むことが大事になる

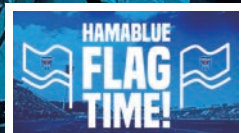
「大事な試合という位置づけなのは、みんなわかっています」
第17節のアウェイで行われたアルビレックス新潟戦では、J1昇格争いのライバルチームに0-3で敗れている。
新潟戦では開始1分、6分と立て続けの失点で2点をリードされてしまう。この2失点が重くのしかかって大事な試合を落としてしまった。
「試合の入り方や終わり方は、明確に課題だったので、もっともっと意識するべきだったと思います」
今シーズンの横浜FCはビルドアップからのボールを回しながら、相手陣内に運んでいくのが基本スタイルとなっている。ただ、90分を通じて常に行きわたるわけではない。手塚は「試合の流れを読む」ことの重要性を説く。
「前半の立ち上がりは相手もフレッシュで、プレスをどんどんかけてくる。パスを丁寧に繋ぐとリスクが大きいので、例えば最初の10分ぐらいは前に蹴ってセカンドボールを拾っていくとか。試合の流れを読んで、チーム全体で同じイメージを共有することが、強いチームになっていくには必要だと思います」
前回の敗戦からおよそ1か月後、J1昇格のために、ホームでの新潟戦は大一番となる。手塚の言葉が力強い。
「悔しい思いをすぐに取り返せるチャンスなので楽しみにです」

質を高めることにこだわる

手塚はかつて、柏レイソル時代にもJ1昇格を経験している。どんなに強いチームであっても、長いシーズンの中で勝てる時期もあれば勝てない時期もあることは理解している。
「一喜一憂せずに目の前の試合を全力で戦って、最後にJ1昇格が見えてくれば良いと思っています」
今シーズンは開幕から破竹の勢いで勝点を積み上げた。だが、第14節でロアソン熊本、第15節でブラウブリッツ秋田に連敗を喫して失速。第17節ではライバルの新潟に0-3で完敗を喫してしまった。
「序盤戦もギリギリ試合をなんとか勝っていたけど、ずっと負けていなかったことで、必要以上に勝てないことをネガティブにとらえてしまった」
序盤戦で勝ち続け、首位にいたことで対戦相手からより研究されるようになり、自分たちのやりたいサッカーをさせてもらえなくなった。
「僕のところからワイドへの斜めの長いパスをすく警戒されていると感じますし、ブロックを引いて守ってくる相手も増えているというのは感じます」
それでも、自分たちの戦い方を変えるのではなく、サッカーの質を高めていくことが必要だと手塚はいう。
「相手がどんなに対策してきても、技術やアイデアで上回れるようになれば、本当の意味で強いチームになれると思います」
横浜FCのゲームメーカーは、J1昇格へ向けて、「前」だけを見ている。

記事/北 健一郎 (スポーツライター)

選手入場時、チャンス時は
フラッグを振って、
選手とともに戦いましょう!



▲詳細はこの画像をクリック!

監督 四方田 修平 Shuhei YOMODA 1973年3月14日生 千葉県出身	2 MF ハインネル RHAYNER 1990年9月5日生 172cm/65kg ブラジル出身	3 DF 中村 拓海 Takumi NAKAMURA 2001年3月16日生 179cm/70kg 大分県出身	4 DF 高橋 秀人 Hideki TAKAHASHI 1987年10月17日生 184cm/75kg 群馬県出身	5 DF ガブリエウ GABRIEL Costa Franca 1995年3月14日生 181cm/78kg ブラジル出身	6 MF 和田 拓也 Takuya WADA 1990年7月28日生 170cm/63kg 神奈川県出身
7 MF 松浦 拓弥 Takuya MATSUURA 1988年12月2日生 167cm/64kg 静岡県出身	8 MF 齋藤 功佑 Kosuke SAITO 1997年6月16日生 166cm/52kg 神奈川県出身	9 FW クレーベ Kieber 1990年5月2日生 187cm/79kg ブラジル出身	10 MF 安永 玲央 Reo YASUNAGA 2000年11月19日生 177cm/72kg 東京都出身	13 FW サウロ ミネイロ Saulo Mineiro 1997年6月17日生 184cm/85kg ブラジル出身	14 MF 田部井 涼 Rya Tabei 1999年6月25日生 172cm/68kg 群馬県出身
15 FW 伊藤 翔 Sho ITO 1988年7月24日生 184cm/76kg 愛知県出身	16 MF 長谷川 竜也 Tatsuya HASEGAWA 1994年3月7日生 164cm/60kg 静岡県出身	17 DF 武田 英二郎 Eijiro TAKEEDA 1988年7月11日生 173cm/71kg 神奈川県出身	18 FW 小川 航基 Koki OGAWA 1997年8月8日生 186cm/78kg 神奈川県出身	19 DF 亀川 諒史 Masashi KAMEKAWA 1993年5月23日生 176cm/70kg 大阪府出身	20 DF イサカゼイン Zain ISSAKA 1997年5月29日生 174cm/78kg 東京都出身
21 GK 市川 輝記 Akisneri ICHIKAWA 1998年10月19日生 190cm/86kg 神奈川県出身	22 DF 岩武 克弥 Katsuya IWATANE 1998年6月4日生 173cm/70kg 大分県出身	23 DF 杉田 隼 Hayato SHIGETA 2004年1月9日生 180cm/67kg 神奈川県出身	24 DF 高木 友也 Yuya TAKAGI 1998年5月23日生 178cm/71kg 神奈川県出身	25 MF 中村 俊輔 Shunsuke NAKAMURA 1978年6月24日生 178cm/71kg 神奈川県出身	27 DF 中塩 大貴 Daiki NAKASHIO 1997年6月9日生 181cm/67kg 埼玉県出身
30 MF 手塚 康平 Kahel TEZUKA 1996年4月6日生 176cm/66kg 栃木県出身	33 MF 近藤 友喜 Tomoki KONDO 2001年3月21日生 172cm/64kg 愛知県出身	34 DF 西山 大雅 Taiga NISHIYAMA 1999年8月24日生 180cm/69kg 神奈川県出身	38 FW 山谷 侑士 Yushi YAMAYA 2000年6月11日生 176cm/70kg 神奈川県出身	39 FW 渡邊 千真 Katsuma WATANABE 1986年8月10日生 182cm/79kg 長崎県出身	44 GK 六反 勇治 Yuji ROKUTAN 1985年4月10日生 188cm/80kg 鹿児島県出身
47 FW フェリペ ヴィゼウ Felipe Vizeu 1997年3月12日生 185cm/83kg ブラジル出身	48 FW 山下 諒也 Ryoya YAMASHITA 1998年10月19日生 164cm/54kg 静岡県出身	49 GK スベド ブローダーセン Svend Brodersen 1999年3月22日生 188cm/89kg ドイツ出身			

対戦チームメンバー 一覧

【監督】松橋 力蔵

1 GK 小島 亨介	21 GK 阿部 航斗
3 DF トーマス デン	22 MF 松田 詠太郎
5 DF 舞行龍 ジューズ	23 FW 小見 洋太
6 MF 秋山 裕紀	24 GK 瀬川 拓弥
7 FW 谷口 海斗	25 MF 藤原 奏哉
8 MF 高 宇洋	26 DF 遠藤 凌
9 FW 鈴木 孝司	28 FW 矢村 健
10 MF 本間 至恩	29 MF シマブク カズヨシ
11 FW アレクサンドレ ゲデス	31 DF 堀米 悠斗
13 MF 伊藤 涼太郎	32 DF 長谷川 巧
14 MF 三戸 舜介	33 MF 高木 善朗
15 DF 渡邊 泰基	35 DF 千葉 和彦
17 MF イッペイ シノヅカ	39 GK 西村 遥己
18 DF 早川 史哉	47 MF 吉田 陣平
19 MF 星 雄次	50 DF 田上 大地
20 MF 島田 譲	



RECORD THE BLUE

J2第23節アルビレックス新潟戦に向けて

ホームタウン活動とは、「地域に愛されるクラブとなるために、」クラブはホームタウンの人々と心を通わせるためのさまざまな活動を実施することです。今回は横浜FCのホームタウン活動の取り組みの一部について書きたいと思います。

横浜FCは「シャレン!」(社会連携活動)の一環としてホームタウン横浜の皆さんと一緒に地産地消に取り組み中、持続可能な開発目標「SDGs:11 住み続けられるまちづくりを」を目指して、ホームゲーム会場で「横浜農場」地産地消を暮らしの中に「開催」しています。そこで、次のステップとしてホームタウン横浜を管轄するJA横浜と米卸の株式会社ミツハシ様と共に地域農業の活性化のため、横浜FCの選手が作る横浜市産のまぶくりを実施しました。横浜市の農家の協力の下、横浜FCの選手が育成に携わり出来たお米を横浜で消費し、またそのお米を通して横浜農業を活性化するための取り組みを目指します。

6月15日曇り空の下、米作りのスタートである、「田植え」に、横浜FCから田部井涼選手、杉田隼選手、C.R.O内田智也が参加。事前の意気込みでは幼少期に経験ありとのことで、期待も高まる中で田植えがスタート。内田C.R.Oは「ホームタウンである横浜でこのような活動に参加できることをうれしく思うと同時に、食を通じた喜びや感動を横浜の皆様に届け

ることができる素晴らしい機会」とコメント。

まずは、田植え機での機械植え。田植え機に乗り込み、3人ともゆっくりと前進。これも性格なのか、前日に免許を取ったためか杉田選手は終始かなりゆっくりと慎重に進ませていたため、会場の笑いを誘った。機械植えの後は、手植えに挑戦。水田に入ります思ったことは、足が泥に取られ全く動くことができないため、かなり難しいということ。3人とも1mを進むのに苦労していると同時に機械の有難さを感じている様子。それでも農家の方は、機械より手植えの方が真っ直ぐ綺麗に植えることができると言うので、不思議である。

3人とも泥だらけになりながら無事に田植えをやり遂げ、終わった後は、農家の方が作った採れたてトマトをみんなでご馳走に。選手たちは両手にトマトを持ってご満腹。最後に田部井選手は「普段できない貴重な体験をさせてもらい、これからは感謝の気持ちを持って結果で応えたい」とコメント。杉田選手も「当たり前のように食べているご飯を、大変な苦労をして作っていることを再認識できた。感謝の気持ちを持ってプレーしたい」とコメント。2人とも疲れ顔だったが、「楽しかった」と帰りの車中で話してくれ、嬉しい限りである。

収穫は秋。非常に楽しんだ。

(広報：亀井慶太)



YOKOREI
Food Expert Match

「人」「もの」「地球」に優しい食品流通のエキスパート

横浜冷凍株式会社 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい4-6-2MMグランドセントラルタワー7階
TEL 045-210-0011 / FAX 045-210-0018

TODAY'S POINT 今日の見どころ

首位争いのライバルチームであるアルビレックス新潟をホームに迎える。5月21日に行われた、第17のアウェイ・新潟戦は早い時間の2失点が響いて0-3で完敗を喫した。手塚康平が「前回の敗戦の悔しい思いをすくに取り返せるチャンス」と言うように、前回の教訓を生かすことが求められる。要注意なのは、ワントップを務める背番号7番の谷口海斗だ。2020シーズンにJ3のロアッソ熊本で得点王になったストライカーは、J2で2年目となる今シーズンはここまでチームトップの7ゴールを挙げている。横浜FCとしては谷口に加えて、サイドアタッカーの本間至恩ら攻撃陣のタレントをしっかりと守備で抑えたい。J1昇格争いのライバルから勝点3を挙げられるか。

スターティングメンバー予想



RECOMMEND GOODS おすすめグッズ情報!

タウンユースしやすいアパレルグッズや梅雨に備えるシューズカバーが登場! ぜひ、グッズ売店にお立ち寄りいただき、ご購入お願いいたします!!

- 場内ホームゴール裏グッズ売店(ホームゴール裏16番ゲート付近)
- 場内メインスタンドグッズ売店(メインスタンドコンコース)

《新商品》

【FULIE TEE WHITE】

大人気の「FULIE TEE」にホワイトのカラーが新登場! シンプルなデザインはサッカー観戦はもちろんのこと、タウンユースしやすいアイテムです。

- 価格:5,500円(税込)
- カラー:ホワイト
- サイズ:S/M/L/XL/XXL



【FULIE CAP NAVY】

「FULIE」の刺繍が施されたネイビーのカジュアルなキャップ。シンプルなデザインでどんなスタイルにも合わせやすいアイテム。

- 価格:6,000円(税込)
- サイズ:フリーサイズ(アジャスター付き)
- 素材:綿



【シューズカバー】

突然の雨でも濡れない靴の上から履いて足元を守ることができるレインシューズカバー。コンパクトに収納でき、使用後はカバンに入れても濡れないケース付きです! 梅雨時のスタジアム観戦にぜひ持っていききたい新アイテムです。

- 価格:2,500円(税込)
- サイズ:Mサイズ(外寸が27cmまでの靴用):約W290×D117×H230mm
- 重量:約220g
- 素材:ポリ塩化ビニル樹脂



【プレーヤーズ3WAYフラッグ】

応援グッズの定番、フラッグの進化版が新登場! 両手持ちや片手持ちのスタイル、タペストリースタイルの3WAYです。試合観戦時、お気に入りの選手のフラッグを持って応援しよう! 試合時以外はタペストリーとして飾って楽しめます。

- 価格:3,300円(税込)
- ラインナップ:No.16 長谷川竜也/No.18 小川航基/No.25 中村俊輔
- サイズ:約縦38.0cm×横50.0cm(フラッグ生地部分)
- 素材:ポリエステル ●付属品:塩ビ棒(2本)、ストッパー(2個)、白紐(1本)



【ミニのぼり】

ホームゲーム時にスタジアムで、よく見かけるのぼりと同じデザインのものサイズが登場! 吸盤が付いているのでガラスに付けたり、デスクに立てることができます。

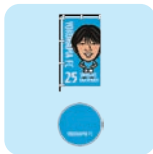
- 価格:2,200円(税込)
- ラインナップ:No.3 中村拓海/No.16 長谷川竜也/No.18 小川航基/No.25 中村俊輔 /No.49 スベンド ブローダーセン/No.99 フリ丸
- サイズ:24×8cm(本体15×5cm)
- 素材:本体=ポリエステル 棒=塩化ビニル、ABS樹脂 吸盤=PVC



【ガチャガチャ のぼり風アクリルスタンド】

ぜひコレクションしてください!

- 場所:場内メインスタンドグッズ売店前/場内バックスタンド11番ゲート横
- 価格:1回/500円(税込)
- ラインナップ:全31選手+フリ丸
- サイズ:本体 約W30×H55mm/土台 約φ35mm
- 素材:アクリル



- お支払い方法
現金
クレジットカード(UCB、VISA、Mastercard、AMERICAN EXPRESS)
QR・バーコード(PayPay、楽天ペイ、d払い、LINE Pay、Alipay、メルペイ、WeChat Pay)
電子マネー(交通系ID、WAON)

SPOT EVENT

ほどがや区民DAYブース

- 時間:15:00~後半キックオフ
- 場所:場外ホームゴール裏入場ゲート付近

★京町屋食品 鯛あん亭(洪福寺松原商店街)

お馴染みの「冷やしたい焼」が再来!
焼きそば、たこ焼き、おにぎりセットなど、豊富でお手軽メニューがラインナップ!

★御菓子司うさぎや(洪福寺松原商店街)

ついに、フリ丸印のうさぎやのフリ丸どら焼きがスタジアムに登場! 各種和菓子もお楽しみいただけます!

★思秀(西谷商栄会)

街の中華屋「思秀」さんのボリュームなお弁当をぜひこの機会に! 各種お弁当を販売します。

★保土ヶ谷スポーツセンターブース

横浜FC指定管理団体の「保土ヶ谷スポーツセンター」ブースで、ご自身の体の状態を調べられるInBody(体成分分析装置)やドッチボールソフトディスクでナインゴールを体験してみよう!
参加賞、高得点賞あります。 高得点目指してチャレンジ!!

★保土ヶ谷区役所ブース

横浜FCグッズが当たる抽選会を開催!
「保土ヶ谷スポーツセンター」の無料利用券、ホームタウンパートナー「満天の湯」様の入浴招待券、など豪華賞品がラインナップ!

※「ほどがや区民DAY対象ブース」の各3店舗で500円分購入する毎に抽選権が1枚もらえます(各3店舗のお会計金額の合算はできません)/抽選券は無くなり次第終了。

- ほどがや区民DAY対象ブース:京町屋食品 鯛あん亭・御菓子司うさぎや・思秀

★「宿場くん・宿場ちゃん」来場!

保土ヶ谷宿場まつり公認キャラクターの「宿場くん&宿場ちゃん」が来場し「ほどがや区民DAY」を盛り上げます!
フリ丸と一緒にピッチ周回などのイベントに参加しますので、お楽しみに!



新潟物産展 出店!

アルビレックス新潟をホームに迎え、戦いの前には敵地の名産品を食え! ということで新潟県の名産、銘菓などを取り揃えた「新潟物産展」を出店します! ぜひご賞味ください!

- 場所:場外ホームゴール裏入場ゲート付近
- 時間:15:00~後半キックオフまで



YOKOHAMA FC

2022 横浜FC あしながドリーム基金

私たちは横浜FCを応援しています。

ジャパントータルサービス株式会社
株式会社イーソー・インフォ
株式会社横浜ソイル
三沢電機株式会社
MS神奈川静岡株式会社
エヌ・ケイ・アーク株式会社
株式会社山川商店
御菓子司 うさぎや
イー・コネクション株式会社
gootara cafe
山田サービス総合事務所
首都圏メンテナンス神奈川株式会社
株式会社アイネット
旭建設株式会社
株式会社イワサワ

Izakaya さがみ
バナックスジャパン株式会社
株式会社シシフ工業
株式会社シラク
しなのメンタルクリニック
弁護士法人なまか法律事務所
北海ラーメン蝦夷
石黒秀雄
稲垣薬品興業株式会社
gootara cafe
ロックベント株式会社
神奈川総合設備株式会社
株式会社CIJ
株式会社グリーンパートナーズ
株式会社スタジオアワバ

株式会社原町加工紙
株式会社西郷健走馬診療所
株式会社キット
渡辺商事株式会社
司法書士田中和平事務所
原資興株式会社
有限会社正木建築研究所
たまごcafeごはん
洪福寺松原商店街振興組合
株式会社ダイネットワークサービス
一般財団法人リスモン財団
株式会社ISP
株式会社アズウィン
保土ヶ谷区スポーツ協会
有限会社神中産業

横浜FCの「あしながドリーム基金」を通じて活動に多くの企業様、団体様、個人の方にご賛同いただいています。
本基金は、神奈川県内の養護施設、介護施設、小学生に向けたホームゲームご招待や、横浜市内の団体へ新型コロナウイルス対策支援物資や子どもたちの試合観戦のための資金として活用させていただきます。

横浜ライト工業株式会社
社会福祉法人日本保育協会横浜支部
鈴木伸彦
株式会社ロックマーク
株式会社小野ファーム
戸田建設株式会社 横浜支店
株式会社ミツハシ
株式会社ユナイテッドスタイル
有限会社エムワイハウジング
株式会社リトルハピネス
株式会社フューアド・エス・システムズ
野中貿易株式会社
株式会社ユナイテッドスタイル

★ホームゲームイベントの詳細はこちらから
https://yokohamafc.com/g/220626_niigata/

2022 横浜FC オフィシャルパートナー

